

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 令和7年度（2025年度）事業報告

（敬称略）

定款第5条各項により

第一項 ピアノを中心とする音楽および音楽教育に関する講習会、研修会、演奏会等の開催

■ピティナ・ピアノセミナー（本部事務局主催、後援）

令和7年度（2025年度）は、706箇所で開催。

■レッスン見学（本部事務局主催、後援）

令和7年度（2025年度）は、40箇所で開催。

■ピティナ・eラーニング（本部事務局）

令和7年度（2025年度）は、ピアノ指導に関するコンテンツを448件公開。年度末時点の登録者は5,214名。

※うちYouTubeメンバーシップ登録者504名

■研究発表ピティナコンサートシリーズ（コンクール運営委員会）

○2025年度第49回ピティナ・ピアノコンペティション ソロ・デュオ部門入賞者記念コンサート

日程：令和8年（2026年）3月21日（土）

会場：第一生命ホール

出演者：第49回ピティナ・ピアノコンペティション A1級～特級、連弾初級A～連弾上級、2台ピアノ、福田靖子賞 入賞者37組

○2025年度特級ガラコンサート

日程：令和8年（2026年）2月11日（水・祝）

会場：J:COM浦安音楽ホール コンサートホール

出演者：第49回ピティナ・ピアノコンペティション 特級ファイナリスト4名

○2025年度第49回ピティナ・ピアノコンペティション グランミューズ部門入賞者記念コンサート

日程：令和8年（2026年）2月22日（日）

会場：Hakujuホール

出演者：第49回ピティナ・ピアノコンペティション グランミューズ部門 入賞者17組

○グランミューズ・サロン

令和7年度（2025年度）は51件実施。

主催者：杉浦菜々子、江本純子、原口摩純、三輪昌代、片山柊、黒岩悠、樋口あゆ子、嘉屋翔太、小原孝、今田篤、西本夏生、今泉響平、若松成、樋口紀美子、金子勝子、木米真理恵、黒田亜樹、浅田陽子、竹内淳、中津美和

会場：伊藤楽器本店（船橋）2階メンバーズルーム、ライティングハウスTOKYO、スタインウェイ&サンズ大阪、美しが丘 スタインウェイ-D・ピアノサロン、カワイ表参道 Aスタジオ、スタジオトリトルネッロ、笠原智廣ピアノアカデミー、渋谷タカギクラヴィア松濤サロン、オクターヴハウス、島村楽器ピアノセレクションセンター、PLAY江古田、PLAY新丸子、ヤマハミュージックジャパン広島店7Fサロン、芸術家の家スタジオ、サローネリリコ馬車道、東音ホール、カワイ広島「パーチェ」、おっことBASE note、大阪 庄内 豊南橋サロン

○ピティナ×ロート製薬 presents ピアノ・コンチェルト鑑賞コンサート

日程：令和7年（2025年）6月8日（日）

会場：ロート会館

出演者：南杏佳（2024年特級グランプリ）、共演：粟辻聡（指揮）関西フィルハーモニー管弦楽団（弦楽合奏）

○特級グランド・コンチェルト2025

日程：令和7年（2025年）9月19日（金）

会場：サ・シンフォニーホール

出演者：北村明日人（2022年特級グランプリ）、進藤実優（2021年特級銀賞）、桑原志織（2013年特級銀賞）

共演：藤岡幸夫（指揮）関西フィルハーモニー管弦楽団（管弦楽）

- 日本フィル×ピティナ ショパン・コンサート
 日程：令和7年（2025年）10月8日（水）
 会場：サントリーホール 大ホール
 出演者：稲沢朋華（2025年特級グランプリ）、古海行子（2018年特級銅賞）、関本昌平（2003年特級グランプリ）
 共演：横山幸雄（指揮）日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）
- トークコンサート（ステップ運営委員会）
 令和7年度（2025年度）は316地区開催。
- ブレアドバイザー研修会（アドバイザー派遣委員会）
 令和7年度（2025年度）は初研修を10回実施し40名が受講。再研修を7回実施し31名が受講した。その成果により、2025年度中に46名が正アドバイザーとして承認された（※）。※2026年1月までにブレアドバイザー研修を終えた方が対象
- 音楽大学代表連絡会
 令和7年度（2025年度）は1月20日に実施。旧称は音楽大学代表連絡委員会。以前は関東近郊の大学を対象にしていたが、今回はハイブリッド実施により全国各地10校の音楽大学が参加。昨今の音楽大学を取り巻く環境変化に伴う各校の取り組みについて詳細な情報交換を行った。
 参加大学名（順不同）：
 桐朋学園大学、洗足学園音楽大学、武蔵野音楽大学、宇都宮短期大学、聖徳大学、福岡国際音楽大学、東京音楽大学、名古屋芸術大学、大阪音楽大学、エリザベト音楽大学

第二項 ピアノを中心とする音楽指導者および学習者等の技能の審査、コンクール等の実施

- 第49回ピティナ・ピアノコンペティション（コンクール運営委員会）
 予選・本選：
 全部門（ソロ部門A2級～特級、デュオ部門及びグランミューズ部門）を予定通り開催。予選参加組数は26,769組（前年比95.9%）となった。

 動画予選：
 ソロ部門・デュオ部門では2024年度より開始した「動画予選」を継続。動画の応募も受け付けてまとめて審査し、実地の地区本選に進出することができる。2025年度は、前年より多い569組の参加があった。
- ・ピティナ・ピアノコンペティションへの審査員派遣（審査員選考委員会）
 令和7年度（2025年度）は、371地区のピティナ・ピアノコンペティションへ850名、延べ2,102人の審査員を派遣した。当該年度に初めて審査を行ったのは29名。動画予選は、海外を拠点としている方を含む延べ65名の審査員に協力いただいた。
- ピティナ・ピアノステップ（ステップ運営委員会）
 令和7年度（2025年度）は633地区が開催され、42,273組が参加した。参加組数は前年比98.5%、演奏時間合計は前年比99.6%となった。
- ・ピティナ・ピアノステップへのアドバイザー派遣（アドバイザー派遣委員会）
 令和7年度（2025年度）は、ステップへ848名、延べ1,868人のアドバイザーを派遣した。当該年度に初めて正アドバイザーとしてアドバイスを行ったのは50名。
- ピティナ・ピアノ指導者ライセンス（指導者育成委員会）
 令和7年度（2025年度）は、延べ49地区で指導実技審査・演奏実技審査・レポート審査を実施。受検者は延べ858名。全級合格者数27名。
- 全国一斉課題曲筆記試験（指導者育成委員会）
 令和7年度（2025年度）は、延べ12地区で開催。うち4地区はオンラインでの開催。
 春期はコンペティション課題曲、秋期は提携コンクール課題曲を題材とした筆記試験（指導者ライセンス筆記試験、ingプログラムWriting）を実施。受検者は延べ175名。

■提携コンクール（理事会）

外部団体主催のコンクールにウェブ申込システムの提供とステージポイントの共有を行った。
令和7年度（2025年度）は60種類・429地区のコンクールと提携。申込数は延べ31,197件。

第三項 音楽および音楽教育に関する調査研究、情報公開

■機関誌「Our Music」381号より計6回発行（理事会）

386号を「令和7年度（2025年度）ピティナ・ピアノコンペティション参加要項」として刊行。

■新曲作品募集とその選考（本部事務局）

譜面審査：令和7年（2025年）10月21日（火）～11月24日（月）
応募78曲から10曲をコンペティション課題曲候補として検討。

■ピティナのウェブサイト上で「ピアノ曲事典」の掲載・更新（メディア委員会）

ピティナ・ピアノ曲事典（ウェブサイト）の構築。令和8年（2026年）3月末時点で、約3,140人の作曲家情報と9万4千曲の作品情報を公開中。

■ピティナ音楽研究所

令和4年（2022年）4月に新設し、同年9月に文部科学省から科研費申請機関としての「指定通知」を受けた。前年度から継続して、上田泰史氏（音楽学・上級研究員）、菅沼起一氏（音楽学・協力研究員）、松川亜矢氏（音楽教育学・協力研究員）、中村栄太氏（音楽情報学・研究員）、福田成康（情報学・専任研究員）の5名の研究員が所属し、分野間の活発な交流が生まれている。菅沼氏と松川氏による連載記事を毎月公開したほか、2025年12月には菅沼氏とピティナ副会長の黒田亜樹氏による装飾・即興についての指導者向けセミナー（eラーニング収録予定）を開催し、好評を博した。

■公開録音コンサート（メディア委員会）

令和7年度（2025年度）は21公演を実施（2010年1月からの通算開催数：331回）。当年度の全公演の入場料収入合計は1,503,500円であった。また、268曲の新規音源をピティナ・ピアノ曲事典に登録した。

■音楽総合力UPセミナー（メディア委員会）

「音楽家としての自立」をテーマとした10組の講師による連続講座（通算16回目）。令和7年度（2025年度）より、全回で「会場参加」と「オンライン参加」を選択できるシステムを導入した。受講者のライフスタイルに合わせた柔軟な受講を可能にするとともに、対面ならではの深い学びの提供を目指している。
内容面では、飯田有抄氏によるオーディオ機材を用いた講座、神谷百子氏のマリンバ演奏、村田厚生氏のトロンボーンを用いた現代音楽講座など、会場での実体験がより学習効果を高めるプログラムを拡充した。

■オンデマンド楽譜印刷・製本サービス「ミュッセ」（本部事務局、課題曲選定委員会）

商品を自由な組み合わせ・曲順で楽譜集にまとめられるオンデマンドの楽譜印刷・製本サービス。販売中の作品数は8,723点（2026年5月8日時点）。個人出品物の販売に加えて、ピティナ事業に関わる作品の販売として、コンペ課題曲やアナリーゼ楽譜の単品販売のほか、編曲オーディションの受賞作品を褒賞として販売。

第四項 ピアノを中心とする音楽教育に関する国際交流事業の実施

■世界の諸地域との交流・情報交換

○イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ロシア、ポーランド、トルコ、アイルランド、フィンランド、中国、香港、韓国、タイ、フィリピン、モンゴル、インドネシア、シンガポール、アメリカ、カナダ、MTNA（The Music Teachers' National Association of U.S.A.）、EPTA（European Piano Teachers Association）、FACP（Federation for Asian Cultural Promotion）、World Federation of International Music Competitions（国際コンクール世界連盟）等との情報交換。

○浜松国際ピアノコンクール事務局・仙台国際音楽コンクール事務局・高松国際ピアノコンクール事務局（日本）、リスト国際コンクール事務局（オランダ）、エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー）、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール事務局・クリーブランド国際ピアノコンクール事務局・ジーナ・バックアウワー国際コンクール事務局（アメリカ）、アーリンク・アルゲリッチ財団等との情報交換。

○来日アーティスト

令和7年度（2025年度）は、ピティナ・ピアノコンペティション全国大会（特級～G級）に海外招聘審査員3名を迎えた。また、特級二次予選などには、日本在住または日本に滞在している海外アーティスト・ピアノ教授を審査に招聘した。

第五項 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

■ピティナ・学校クラスコンサート（理事会）

令和7年度（2025年度）は45校（児童3,604名）で開催。

内訳（出資元別）：支部・ステーション3校、自治体・教育委員会33校、文化庁派遣事業4校、学校・PTA主催5校

■ピティナ・ピアノ教室紹介（理事会）

6,718件（2026年3月末日時点）

■ピティナ伴奏者紹介（理事会）

98件（2026年3月末日時点）

■ピティナ調律師紹介（理事会）

39件（2026年3月末日時点）

■専門家によるオンライン無料相談窓口

経営相談：5件 法律相談：5件（2026年3月末日時点）

■寄付金（理事会）

下記の事業およびプロジェクトへ 合計7,598,051円／565件の寄付を集めた（2026年3月末日時点）。
寄付方法は、ピティナ・ウェブサイトからの申込（クレジットカード等）、指導者賞賞金による寄付など。

- ・各事業への寄付：ピアノ教室紹介、ピアノ曲事典／調査・研究／音楽研究所、学校クラスコンサート、特級（2,320,750円／370件）
- ・事業指定なしの寄付：（1,229,301円／10件、うち100万円の個人からの寄付1件含む）
- ・2025年特級クラウドファンディング（3,148,000円／183件）
- ・褒賞として：ヒノキ新薬様より400,000円
- ・特級協賛金として：三井住友銀行様より500,000円

■60周年記念事業、特級寄付基金への寄付（理事会）

2025年12月から2026年度にかけて、60周年記念事業および特級寄付基金で寄付を募集。

60周年記念事業へ 合計12,480,000円／443件、また特級寄付基金へ 合計3,420,000円／86件 の寄付を集めた。（2026年5月17日時点）

■当協会の目的達成に協力する団体等との連絡提携

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ○公益財団法人 福田靖子賞基金 | ○公益社団法人 日本演奏連盟 |
| ○一般社団法人 日本ピアノ調律師協会 | ○公益社団法人 日本オーケストラ連盟 |
| ○一般社団法人 日本楽譜出版協会 | ○一般社団法人 日本作曲家協議会 |
| ○公益財団法人 東京二期会 | ○公益財団法人 音楽文化創造 |
| ○一般社団法人 日本弦楽指導者協会 | ○一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会 |
| ○公益財団法人 音楽鑑賞教育振興会 | ○仙台国際音楽コンクール |
| ○アーリンク・アルゲリッチ財団 | ○日本民間教育協議会 |
| ○デジタルアーカイブ学会 | ○日本音楽学会 |
| ○日本音楽芸術マネジメント学会 | ○日本音楽教育学会 |
| ○教育立国推進協議会 | ○「エクセレントNPO」をめざそう市民会議 |
| ○公益財団法人 日本非営利組織評価センター | ○慶應義塾大学 |
| ○音楽教育事業者協議会 | ○筑波大学 |
| ○全国の自治体及び教育委員会 | ○全国の音楽学校、音楽大学 |
| ○当協会団体会員（62団体） | |

以上の団体との情報交換。